

樹脂系すべり止め舗装 特記仕様書

1. 材料

名古屋市緑政土木局土木工事標準仕様書「樹脂系すべり止め舗装工」に準拠するものとする。また、使用材料及び材料の使用数量については樹脂舗装技術協会の仕様を適用する。

なお、規格については、設計図書によるものとし、事前に監督員の承諾を得なければならない。

規格一覧

規格	施工面	骨材色	トップコート	形状	備考
RPN-301	密粒 As(新設・既設)	カラー	有	全面	
RPN-302	排水性 As(新設・既設)	カラー	有	全面	排水機能なし
RPN-303	密粒 As(新設・既設)	カラー	有	セブラ	
RPN-304	排水性 As(新設・既設)	カラー	有	セブラ	排水機能なし
RPN-401	密粒 As(新設・既設)	カラー 黒	カラー 有 黒 無	W セブラ	
RPN-402	排水性 As(新設・既設)	カラー 黒	カラー 有 黒 無	W セブラ	
RPN-601	排水性 As(新設・既設)	カラー	有	全面	排水機能あり
RPN-602	排水性 As(新設・既設)	カラー	有	セブラ	排水機能あり

1-1. 品質

名古屋市緑政土木局土木工事標準仕様書「樹脂系すべり止め舗装工」に準拠するものとする。また、品質については樹脂舗装技術協会の仕様を適用する。

1－2．色相

赤(05－40X 相当近似色)

ベンガラ(07－40P 相当近似色)

黒(N－10 相当近似色)

なお、色相については、設計図書によるものとし、事前に監督員の承諾を得なければならない。

2．施工

名古屋市緑政土木局土木工事標準仕様書「樹脂系すべり止め舗装工」に準拠するものとする。

2－1．施工管理

名古屋市緑政土木局土木工事標準仕様書「樹脂系すべり止め舗装工」に準拠するものとする。

ただし、すべり抵抗値（BPN）は施工初期時に湿潤時70以上とし、試験方法は「振子式スキッドレジスタンステスターによる方法」（舗装調査・試験法便覧）によるものとする。測定は300m²毎（300m²未満についても1箇所）とする。